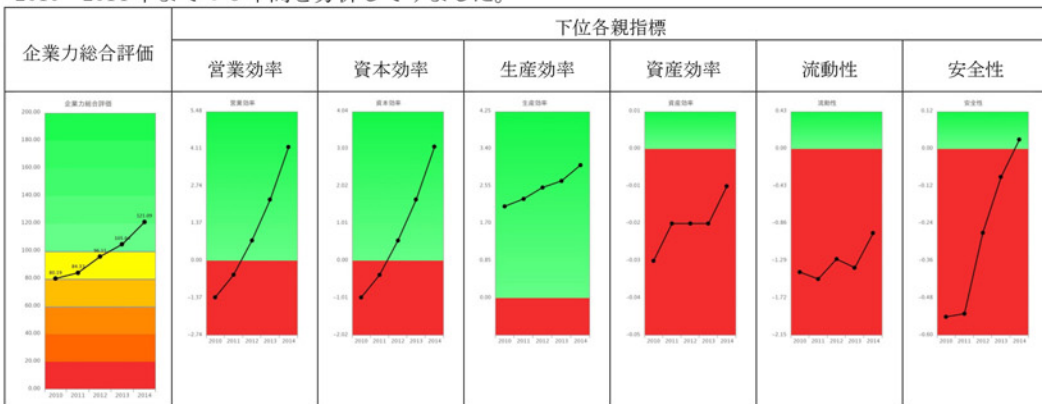


今回は、太平洋セメント㈱を分析しました。セメントだから経営も固い？

2010～2014年までの5年間を分析してみました。



企業力総合評価は、80 → 84 → 96 → 105 → 121 と推移しています。なんとという気持ちのいいグラフでしょう。すべて改善トレンドです。

営業効率（儲かるか）は2010～2011年は赤信号領域でしたが、その後見事に回復しました。資本効率（株主評価）も同様です。

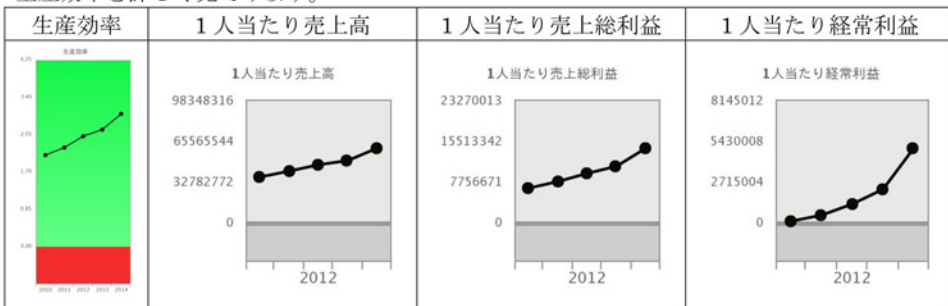
生産効率（人の利用度）は青信号領域を改善トレンドです。

資産効率（資産の利用度）は、ずっと赤信号領域にあり、2011～2013年の踊り場があるものの、改善トレンドです。

流動性（短期資金繰り）も赤信号領域を改善トレンドです。

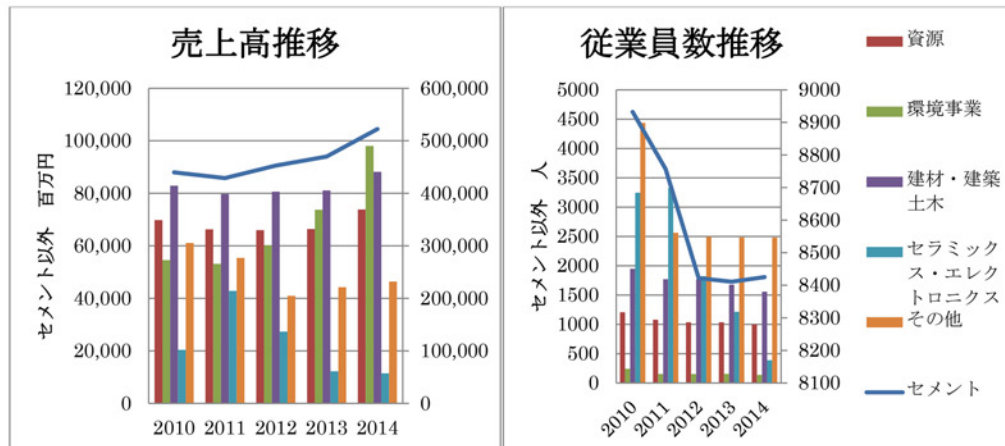
安全性（長期資金繰り）は、赤信号領域から改善し2014年に青信号領域に入りました。

生産効率を詳しく見てみます。



従業員数は、20,347人→17,912人→15,949人→15,230人→14,240人と推移しています。2010年から4年間で6127人30%も人員削減しています。

次に、従業員数を売上高と合わせて見てみます。（セメント事業部の売上高・従業員数が非常に多いので、同事業部は右の縦軸を、それ以外の事業部は左の縦軸を参照して下さい。）

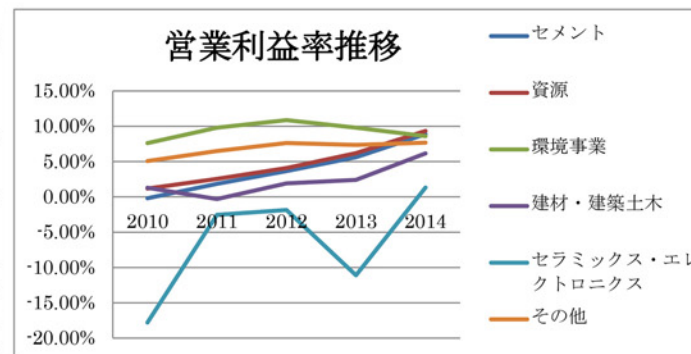


売上高はセラミックス・エレクトロニクス事業部を除き増収です。（2014年に撤退しました。）
従業員数は、全ての事業部で減少しています。

右のグラフは売上高営業利益率のセグメント別推移です。

環境事業は2010年から同社のホープ的存在、セラミックス・エレクトロニクス事業はお荷物的存在。

セラミックス・エレクトロニクス事業の撤退は理解しやすいですが、通常資源を集中させる環境事業の人員まで削減するとは驚きます。（従業員数241人→137人）



セグメント別の1人当たり売上高を見ると、環境事業は226,414千円→715,686千円です。

SG別1人当たり売上高推移	2010	2011	2012	2013	2014
セメント	49,242,387	48,988,352	53,755,521	55,860,896	61,996,914
資源	57,879,768	61,486,085	63,679,537	64,121,622	73,828,000
環境事業	226,414,938	347,464,052	395,848,684	478,961,039	715,686,131
建材・建築土木	42,549,795	45,042,914	45,553,672	48,344,663	56,632,627
セラミックス・エレクトロニクス	6,281,885	12,874,700	15,023,052	10,071,664	29,579,897
その他	13,767,012	21,631,538	16,422,846	17,824,477	18,713,825

まとめ

固いというより大胆な選択が功を奏し、企業力総合評価は右肩上がりになりました。今後の経営には繊細さも求められることになるでしょう。

編集後記 あけましておめでとうございます。今年も素晴らしい1年となりますように。

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 SARUKIビル4F 猿木真紀子税理士事務所

Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp